



2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月9日

上場会社名 日清紡ホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 3105 URL <https://www.nisshinbo.co.jp>
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 村上 雅洋
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 塚谷 修示 (TEL) (03) 5695-8833
四半期報告書提出予定日 2024年5月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第1四半期の連結業績(2024年1月1日～2024年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	130,754	△9.2	8,147	△36.1	10,085	△31.4	7,895	△32.5
2023年12月期第1四半期	144,004	3.7	12,759	△2.0	14,711	△2.3	11,705	0.5

(注) 包括利益 2024年12月期第1四半期 18,906百万円(39.1%) 2023年12月期第1四半期 13,593百万円(△25.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	50.25	50.25
2023年12月期第1四半期	74.54	—

(注) 2023年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は希薄化効果を有している潜在株式が存在していないため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	698,267	293,694	38.0
2023年12月期	675,042	277,459	37.1

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 265,060百万円 2023年12月期 250,597百万円

(注) 当第1四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2023年12月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	18.00	—	18.00	36.00
2024年12月期	—	—	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	18.00	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日～2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	513,000	△5.2	24,000	92.7	26,000	64.7	19,000	—	120.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年12月期 1 Q	169,192,654株	2023年12月期	169,192,654株
2024年12月期 1 Q	12,078,088株	2023年12月期	12,077,767株
2024年12月期 1 Q	157,114,693株	2023年12月期 1 Q	157,038,009株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、その達成を約束するものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(企業結合等関係)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、当第1四半期連結会計期間より日立国際電気グループの経営成績を反映したこと等により無線・通信事業は増収となりましたが、当第1四半期連結会計期間よりTMDグループの経営成績を除外したブレーキ事業、マイクロデバイス事業および不動産事業等が減収となったことにより130,754百万円（前年同期比13,249百万円減、9.2%減）となりました。

営業利益は、無線・通信事業の増益があった一方で、マイクロデバイス事業の損益悪化や不動産事業の減益等により8,147百万円（前年同期比4,612百万円減、36.1%減）となりました。

経常利益は10,085百万円（前年同期比4,626百万円減、31.4%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は7,895百万円（前年同期比3,810百万円減、32.5%減）となりました。

主要な事業セグメントの業績は次のとおりです。セグメント利益またはセグメント損失は営業利益または営業損失ベースの数値です。

(無線・通信)

ソリューション・特機事業は、当第1四半期連結会計期間より日立国際電気グループの経営成績を反映したこと等により大幅増収・大幅増益となりました。

マリンシステム事業も、商船新造船用機器や商船換装用機器、欧州河川市場向けワークボート用機器が好調に推移したことで増収・増益となりました。

モビリティ事業は、海外向け業務用無線の需要が一巡しましたが、新型レピータ（携帯電話中継装置）の出荷が本格化したことにより増収・損失縮小となりました。

その結果、無線・通信事業全体では、売上高73,662百万円（前年同期比56.1%増）、セグメント利益9,233百万円（前年同期比97.0%増）となりました。

(マイクロデバイス)

前年同期堅調に推移した車載製品はEV市場の成長鈍化を受け減少し、産機製品も中国市場におけるEV関連投資の減少や顧客の在庫調整により大幅に減少しました。民生品（コンシューマ製品）もスマートフォン・PC関連を中心に顧客の在庫調整や市況の回復が遅れている影響で減少し、電子デバイス事業は減収・損益悪化となりました。

マイクロ波事業は、センサ関連製品や船舶用電子管保守部品はおおむね堅調に推移したものの、米国向け船舶、地上固定局用の衛星通信関連が低調だったことにより減収・減益となりました。

その結果、マイクロデバイス事業全体では、売上高14,686百万円（前年同期比22.2%減）、セグメント損失1,024百万円（前年同期比3,107百万円悪化）となりました。

(マテリアル)

・ブレーキ

日本・米国・韓国等の拠点はカーメーカーの生産回復等により増収・増益となりましたが、当第1四半期連結会計期間よりTMDグループの経営成績を除外したことにより減収・減益となり、ブレーキ事業全体では、売上高14,203百万円（前年同期比66.5%減）、セグメント利益591百万円（前年同期比20.4%減）となりました。

・精密機器

精密部品事業は、自動車用EBS部品が堅調に推移し増収・前年同期並みの利益となりました。成形品事業は、空調関連製品の顧客の生産回復遅れや車載関連製品の一時的な受注減等により減収・減益となりました。

その結果、精密機器事業全体では、売上高12,515百万円（前年同期比8.3%減）、セグメント利益176百万円（前年同期比43.0%減）となりました。

・化学品

断熱製品は、冷蔵冷凍設備・土木用原液、硬質ブロック、水処理製品の受注増により増収・増益となりました。燃料電池用カーボンセパレータは、海外定置用の受注減により減収・損失拡大となりました。機能化学品は、国内外での生分解性樹脂、自動車部品関連、電子材料等の受注増により増収・増益となりました。

その結果、化学品事業全体では、売上高2,643百万円（前年同期比4.0%減）、セグメント利益81百万円（前年同期比23.8%減）となりました。

・繊維

東京シャツ㈱を含むシャツ事業は減収・損失拡大となり、ユニフォーム事業も市況低迷により減収・損失拡大となりました。ブラジル拠点は受注回復により増収・増益となりました。

その結果、繊維事業全体では、売上高8,970百万円（前年同期比1.0%減）、セグメント損失161百万円（前年同期比41百万円損失縮小）となりました。

(不動産)

静岡県浜松市の大規模な宅地販売を実施した前年同期との比較では減収・減益となり、不動産事業全体では、売上高1,299百万円（前年同期比82.4%減）、セグメント利益706百万円（前年同期比88.9%減）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期通期の連結業績予想につきましては2024年2月9日公表の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	52,502	54,688
受取手形、売掛金及び契約資産	114,613	129,102
電子記録債権	16,303	16,462
商品及び製品	58,390	61,557
仕掛品	66,700	59,714
原材料及び貯蔵品	44,813	45,003
その他	14,158	14,071
貸倒引当金	△961	△1,028
流動資産合計	366,519	379,570
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	59,251	59,682
機械装置及び運搬具（純額）	50,096	51,051
土地	38,738	38,936
その他（純額）	23,941	28,275
有形固定資産合計	172,028	177,945
無形固定資産		
のれん	949	831
その他	11,573	11,481
無形固定資産合計	12,522	12,313
投資その他の資産		
投資有価証券	68,566	73,707
その他	57,550	56,570
貸倒引当金	△2,145	△1,840
投資その他の資産合計	123,971	128,437
固定資産合計	308,522	318,697
資産合計	675,042	698,267

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	40,549	41,570
電子記録債務	26,686	25,187
短期借入金	83,892	95,743
コマーシャル・ペーパー	30,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	13,395	11,464
未払法人税等	2,377	2,638
賞与引当金	1,849	7,536
その他の引当金	2,330	2,405
その他	46,725	40,383
流動負債合計	247,806	256,929
固定負債		
長期借入金	88,749	86,870
引当金	72	74
退職給付に係る負債	38,654	38,211
資産除去債務	830	839
その他	21,469	21,648
固定負債合計	149,775	147,644
負債合計	397,582	404,573
純資産の部		
株主資本		
資本金	27,774	27,774
資本剰余金	18,915	18,915
利益剰余金	171,211	176,278
自己株式	△13,236	△13,236
株主資本合計	204,665	209,732
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,923	28,000
繰延ヘッジ損益	△14	13
為替換算調整勘定	18,215	23,760
退職給付に係る調整累計額	3,808	3,553
その他の包括利益累計額合計	45,932	55,328
新株予約権	38	38
非支配株主持分	26,823	28,594
純資産合計	277,459	293,694
負債純資産合計	675,042	698,267

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
売上高	144,004	130,754
売上原価	106,311	100,681
売上総利益	37,693	30,072
販売費及び一般管理費	24,934	21,925
営業利益	12,759	8,147
営業外収益		
受取利息	213	336
受取配当金	173	254
持分法による投資利益	1,876	408
為替差益	332	1,303
雑収入	468	555
営業外収益合計	3,065	2,858
営業外費用		
支払利息	827	489
雑損失	285	430
営業外費用合計	1,113	920
経常利益	14,711	10,085
特別利益		
固定資産売却益	18	64
投資有価証券売却益	196	892
助成金収入	563	174
特別利益合計	778	1,131
特別損失		
固定資産売却損	3	0
固定資産廃棄損	29	8
減損損失	-	24
子会社事業構造改善費用	146	-
特別損失合計	179	33
税金等調整前四半期純利益	15,311	11,183
法人税、住民税及び事業税	2,525	2,083
法人税等調整額	1,027	211
法人税等合計	3,552	2,295
四半期純利益	11,758	8,888
非支配株主に帰属する四半期純利益	52	993
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,705	7,895

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	11,758	8,888
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,026	4,087
繰延ヘッジ損益	51	27
為替換算調整勘定	364	5,505
退職給付に係る調整額	44	△283
持分法適用会社に対する持分相当額	347	680
その他の包括利益合計	1,834	10,017
四半期包括利益	13,593	18,906
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,493	17,291
非支配株主に係る四半期包括利益	99	1,614

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当する事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当する事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント								その他 (注)	合計
	無線・通信	マイクロ デバイス	ブレーキ	精密機器	化学品	繊維	不動産	計		
売上高										
外部顧客への 売上高	47,180	18,875	42,418	13,651	2,755	9,061	7,379	141,322	2,682	144,004
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	87	292	2	25	38	1	336	784	384	1,169
計	47,267	19,168	42,421	13,677	2,793	9,063	7,715	142,107	3,066	145,174
セグメント利益 又は損失(△)	4,686	2,082	742	310	107	△203	6,354	14,080	134	14,215

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである食品、産業資材等の商社機能等が含まれています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	14,080
「その他」の区分の利益	134
セグメント間取引消去	35
全社費用(注)	△1,491
四半期連結損益計算書の営業利益	12,759

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しないグループ管理費用及び減価償却費並びに基礎技術の研究開発費です。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント								その他 (注)	合計
	無線・通信	マイクロ デバイス	ブレーキ	精密機器	化学品	繊維	不動産	計		
売上高										
外部顧客への 売上高	73,662	14,686	14,203	12,515	2,643	8,970	1,299	127,982	2,772	130,754
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	129	262	2	4	79	4	329	813	1,208	2,021
計	73,792	14,948	14,206	12,519	2,723	8,974	1,629	128,795	3,980	132,775
セグメント利益 又は損失(△)	9,233	△1,024	591	176	81	△161	706	9,603	176	9,780

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである食品、産業資材等の商社機能等が含まれています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	9,603
「その他」の区分の利益	176
セグメント間取引消去	13
全社費用(注)	△1,646
四半期連結損益計算書の営業利益	8,147

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しないグループ管理費用及び減価償却費並びに基礎技術の研究開発費です。

(企業結合等関係)

(企業結合に係る暫定的な会計処理の確定)

2023年12月27日に取得したHVJホールディングス(株)、(株)日立国際電気及びその子会社7社との企業結合について、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、当第1四半期連結会計期間に確定しています。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第1四半期連結会計期間の連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されており、前連結会計年度末の連結貸借対照表は、のれんが3,523百万円減少し、建物及び構築物(純額)が125百万円、土地が6,224百万円、固定負債その他が1,944百万円、非支配株主持分が880百万円それぞれ増加しています。なお、当該会計処理の確定の結果、前連結会計年度末の暫定的に算定されたのれんの金額3,556百万円は32百万円となり、当第1四半期連結累計期間で全額を償却しています。

(重要な後発事象)

該当する事項はありません。